

◀ 次号予告 ▶

特集1 画像診断医に求められる認知症診断のminimum requirements －疾患修飾薬の到来を見越して－

企画・編集：櫻井圭太

- 序説 櫻井圭太
- [総論]
- 臨床診断のポイントー認知症専門医からの視点ー 武田章敬
- AT(N)分類と体液バイオマーカー 春日健作
- 神経病理診断のポイントー変性性認知症における蓄積蛋白を中心とした解説ー 岩崎 靖
- MRI検査のポイントー基本的な撮像法から先進的な撮像法・解析を含めてー 鎌形康司
- 核医学検査のポイントー認知症診療におけるSPECT, PETの役割ー 今林悦子
- [各論]
- Alzheimer病の画像診断ー典型例から非定型例までー 小林良太
- non-Alzheimer's dementiaー高齢者タウオパチー, LATEの画像所見を中心にー 櫻井圭太
- Lewy小体病ーLewy小体型認知症における画像診断の役割ー 乾 好貴
- 血管性認知症ーCAAを中心とする画像所見のupdateー 海野真記
- 特発性正常圧水頭症ーほかの認知症との鑑別とAVIMー 伊関千書
- 特徴的画像所見が診断に役立つ認知症 横山幸太

特集2 知っておきたい 造影剤副作用のトピックス

企画・編集：対馬義人

- 序説 対馬義人
- 造影剤によるアナフィラキシーに対する初期対応ー放射線科医はまず何をすべきかー 堀内辰男
- ヨード造影剤の副作用について(PC-AKIを除く) 大田英揮
- ヨード造影剤による造影後腎障害(PC-AKI)ー腎臓内科医の立場からー 比良野圭太
- ガドリニウム造影剤の安全使用ー長期残留問題を含めてー 村田 望
- 造影剤の血管外漏出 対馬義人
- ガドリニウムによる環境汚染 熊坂創真

連載

- 何としても読んでもらいたい あの論文, この論文[第13回] 中島崇仁

※内容は一部変更になる場合がありますので, ご了承下さい。

臨床画像7月号
CLINICAL IMAGIOLOGY Vol.39
2023年7月26日発行

発行人 吉田富生

発行 株式会社メジカルビュー社

〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町2-30
電話03(5228)2050 FAX03(5228)2059
<https://www.medicalview.co.jp>

印刷所 三美印刷株式会社

 @MV_rinshogazou

●本誌に掲載された著作物の複写・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信(送信可能化権を含む)・上映・譲渡に関する許諾権は, (株)メジカルビュー社が保有しています。

●**JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は, そのつど事前に, 出版者著作権管理機構(電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

●本書をコピー, スキャン, デジタルデータ化するなどの複製を無許諾で行う行為は, 著作権法上での限られた例外(「私的使用のための複製」など)を除き禁じられています。大学, 病院, 企業などにおいて, 研究活動, 診察を含み業務上使用する目的で上記の行為を行うことは私的使用には該当せず違法です。また私的使用のためであっても, 代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。